

## 第66回交流フロア運営会議（議事概要）

### 1 日時・場所

平成29年5月10日（水）18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

### 2 参加者数 22人

### 3 会議内容

#### (1) 「伊丹酒造り唄と酒文化継承の会発足」（新規）

- ・清酒発祥の地・伊丹の酒文化を継承していくため、江戸時代に歌われた酒造り唄を市民に知ってもらい、定期的に練習会をしたり、まちなかソールやその他市内で開かれる会の乾杯のときに紹介していきたい。まちのアピールに繋げたい。
- ・伊丹の酒造り唄は、歌詞は残っているが曲はわからない。だが、曲が今も伝わっている灘や丹波の唄とそれほど変わらないと思うので、曲をそのまま乗せられるかもしれない。

#### 意見

- ・譜面があれば、尺八で演奏できる。
- ・イベント時には、老松の水を配布してはどうか。
- ・歌詞の意味がわからないところがあったり、どんな道具で作業していたのか知らないので、実際の道具などを紹介したり実演してくれるといい。
- ・旧岡田家住宅へのツアーと組み合わせはどうか。

#### (2) 「ウィキペディア部」と「オープンデータソン in 伊丹（仮称）」の進捗状況（前回の続き）

- ・仮称だった「ウィキペディア部」は、「伊丹アーカイ部」にすることにした。
- ・オープンデータソンは7月29日（土）に開催することになり、ことば蔵発→猪名野神社→惣構だった有岡城の外堀跡を回りひよどり塚へ→大坂道→ことば蔵のコースを検討中  
時間があれば發音寺（ほつおんじ）にも寄りたい。

#### (3) 「双六読書会」（小さな靴あと）（新規）

- ・夏休みに向けて、子どもがすごろくを通して学んだり、自分ですごろくを作るワークショップを開催したい。
- ・地元の観光名所、阪神間の文学スポット、有名人の人生、日記など何でもすごろくにできる。
- ・あまり知られていない絵本を朗読して、子ども達はそのストーリー順に絵のコマを並べてすごろくを作ることで、読解力や想像力などが養われる。
- ・高学年なら「3つ進む」「1回休む」などのコマも使ってすごろくを作ることができるので、夏休みの絵日記や自由研究をすごろくにしても面白い。

#### 意見

- ・子ども達にお気に入りの絵本を持ってきてもらって、それをもとにそれぞれコマを作ってもらい、例えば汽車の話なら「3つ進む」とかにすると面白いのでは。
- ・特大のコマを1人1つ作ってもらい、人間がコマになって特大すごろくを作って遊んでも

面白いかも。最後は上から写真を撮って参加者に配布したり、コマだけ展示してもいい。

- ・地図を背景にして「名所すごろく」を作ったら面白いのでは。
- ・「おくの細道」をたどるすごろくを作っても面白そう。

(4) 「気になる本で話そう」(らしーく)

- ・今年度1回目の「気になる本で話そう」を、7月末頃に開催したい。テーマは「女の子は本当にピンクが好きなのか」(堀越英美 著)。昔から子どもに何かをあげるときなどに、男の子はブルー、女の子はピンクということがよくあった。そのような思い込みがどのようにして生まれたのか、また男の子も女の子も自分を認められるような社会にするためにどうすればいいのか、考える機会にしたい。

4 次回の運営会議

平成29年6月7日(水) 18:30～ 伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア